

- IV 令和元年度農業普及関係
各種表彰事業受賞者概要**
- V 令和元年度農業改良普及
事業関係主要行事実施状況**
- VI 令和元年度各農業改良普及
センタープロジェクト
課題一覧**
- VII 令和元年度普及指導課題
対象農業者満足度調査結果
の概要**

IV 令和元年度農業普及関係各種表彰事業受賞者概要

1 農事功績者表彰

主催 公益社団法人 大日本農会

趣旨 農業における新しい技術や経営の改善に挑戦し、優れた農業経営を確立するとともに、地域のリーダーとして、技術の導入・普及、産地の形成、青年農業者の育成等、地域農業の発展に貢献されてきた農業者並びに農業技術の普及・研究開発に寄与された方々に対し、総裁(秋篠宮文仁親王殿下)の御名をもって表彰を行い、賞章等を授与する。

◎緑白綬有功章

高橋 正則 氏・順子 氏(大崎市)

経営部門：水稲・野菜作複合経営

<活動の概要>

地域を先導して「有機ササニシキの会」や移動販売組織などの直売活動の立ち上げに尽力し、消費者と農業者のコミュニティ形成や食育推進に貢献した。

平成11年に地域初の常設直売所「旬の店・シンフォニー」の開設に尽力し、順子氏は平成19年より会長に就任した。平成26年より自家製米粉を活用したシフォンケーキ等を製造して経営を発展させ、直売所の冬期の売上向上に貢献した。

順子氏は県生活研究グループ会長や県農業士会副会長を歴任し、正則氏は地域のは場整備事業実行委員会の委員を20年以上担うなど、女性農業者の能力向上による担い手育成と農地基盤整備の促進に貢献したことが高く評価された。

2 宮城県農林産物品評会

主催 宮城県

趣旨 農業者の生産意欲の高揚と生産技術の向上を図り、農林産物の生産振興に寄与することを目的とし、県内の生産者から出品された農林産物を審査し、優秀な出品物生産者に対し農林水産大臣賞等を授与し表彰する。

※令和元年度は、令和元年東日本台風の影響により、野菜部門及び果実部門は中止とした。

期日 令和元年10月～11月

場所 県庁1階フロア

◎宮城県知事賞

知事賞1等賞

(敬称略)

部門	品目	市町村	受賞者氏名
普通作物	うるち玄米	村田町	渡邊長松
林産物	生しいたけ	角田市	遠藤敏行

知事賞2等賞 5名

知事賞3等賞 7名

◎農林水産大臣賞等特別賞受賞者

(敬称略)

区 分	部 門	品 目	市町村	受賞者氏名
農 林 水 産 大 臣 賞	普通作物 林産物	うるち玄米 生しいたけ	村 田 町 角 田 市	渡 邊 長 松 遠 藤 敏 行
農 林 水 産 省 政 策 統 括 官 賞	普通作物	うるち玄米	石 卷 市	農事組合法人みのり
農 林 水 産 省 林 野 庁 長 官 賞	林 産 物	生しいたけ	大 崎 市	伊 東 義 則
宮城県農業協同組合中央会代表理事会長賞	普通作物	うるち玄米	村 田 町	佐 藤 民 夫
公益社団法人みやぎ農業振興公社理事長賞	普通作物	うるち玄米	登 米 市	佐々木 礼 藏
宮城県食用茸協同組合理事長賞	林 産 物	生しいたけ	仙 台 市	熊 谷 幸 夫
宮城県森林組合連合会長賞	林 産 物	木 炭	七ヶ宿町	井 上 鎮 夫
宮城県林業振興協会会長賞	林 産 物	生しいたけ	大 和 町	早 坂 誠 吉
宮城県特用林産振興会長賞	林 産 物	生しいたけ	大 崎 市	氏 家 幸 子

3 農業・農村活性化女性グループ等表彰

主 催 宮城県

趣 旨 農業・農村の活性化や女性の参画推進、次世代リーダーとなり得る若手女性農業者の参入等、女性活躍推進につながる活動を積極的に行っている個人・グループを表彰し広く周知することにより、農業者はもとより農業後継者や県民にとっても魅力ある農業・農村を創造しようとするもの。

地域社会参画部門

◎最優秀賞 大崎市古川農産加工クラブ連絡協議会(大崎市)

<活動の概要>

米や大豆等地元農産物を活用した加工技術を市民に広く伝承する「市民開放講座」の講師や、自家生産した農産物や加工品を販売する「まごころ市」の開催など、農村女性の強みを活かし、所得向上、地域農業の魅力発信、消費者との交流につなげている。それぞれの会員の加工品販売による収入増加や起業は、連絡協議会の貪欲な加工技術の研究と追求が大きく実を結んだものである。

昭和の時代から30年以上に渡り、息の長い活動を継続し、自家消費用農産物を利用しての加工品作りと販売、またこれらに関わる技術向上活動は、農村生活の充実と地域農業の発展に大きく貢献している。

大崎市古川農産加工クラブ連絡協議会が取り組んでいる活動は、女性の活躍そのものであり、女性が生き生きと社会に参画するロールモデルであると高く評価された。

4 宮城県農村教育青年会議

主催 宮城県、宮城県農村青少年クラブ連絡協議会、公益社団法人みやぎ農業振興公社

趣旨 地域農業の中核として日頃農業の改良と生活の改善に努めている青年農業者が、4日クラブ活動を通じて得た成果を互いに情報交換し、当面する問題の解決方法を探るとともに、新しい農業と農村の発展方向を見いだす。

期日 令和2年2月1日

場所 エスポールみやぎ(仙台市宮城野区)

【プロジェクト発表】

◎最優秀賞：宮城県知事賞 三浦 善幸氏(大崎地区連)

課題名：「秋冬ねぎの経営改善」

発表要旨：(背景) 2018年の秋冬ねぎ経営では年内に収穫・調製作業を終えることができず、品質の低下や親の経営を圧迫してしまった。そこで、年内で作業を終えるために運搬方法と栽培面積、雇用期間の見直しに取組んだ。

- (課題) ①収穫運搬に手間がかかり、疲労感や作業効率の低下を感じていた。
②栽培面積が処理できる面積を超えていた。
③雇用期間が無計画だった。

- (取組内容) ①収穫運搬方法の見直し：パレットを改良した運搬台とフォークリフトを使用することにより、運搬作業の改善を目指した。取組を評価するために、1回あたりの運搬時間及び総運搬日数を記録した。
②栽培面積と雇用期間の見直し：栽培面積を減らし、雇用期間を収穫開始から前倒しした。取組を評価するために、作業日誌に労働時間を記録・集計した。

(結果) 従来の方法と比較し、ネットでねぎを束ねる作業や手で降ろす作業が無くなったため、手で担ぐ回数が3回から1回に改善された。運搬時間は1回当たり15分短縮でき、運搬効率は1.4倍となった。掘取り作業を継続して行うことができるようになり、作業効率の向上や身体への負担軽減効果が得られた。

【農村青年の主張】

◎最優秀賞：宮城県知事賞 大沼ほのか氏(気仙沼地区連)

課題名：「まちを守る人」

発表要旨： 農を営む人は、先祖代々守られてきた土地を守り、その地域の風景を守り、その風景を綺麗だと感じる人の心を守ってきました。

私が生まれ育った南三陸町にも、まちを守る人がいることによりやく気が付いたのは、農家になろうと志した高校三年生の冬です。人手不足や高齢化など、暗いニュースが飛び交う中でも、農家の方々は毎年土を耕し、種を蒔き、農産物を大切に育てています。

「そんなカッコいい大人になりたい。」

そう決意した私は、南三陸町に思い出の栗園を取り戻すため、宮城県農業大学校へと進学しました。

震災前、小学校で恒例行事だった栗拾いは、現在もう無くなってしまいました。今まで管理してくださっていた農家さんや親御さんの数が減少したためです。農業大学校入学後、思い出の栗園を訪れた私は、荒れ果てた栗園を見て、

「思い出の栗園を、南三陸にもう一度作ろう！」

と決意しました。

たくさん先輩農家さんは、普段から私の夢しかない将来像や理想の農家像を面白がりながらも真剣に聴いてくださいます。

先輩農家さんの目は、私以上にキラキラと輝いており、希望にあふれています。

私は、今までまちを守ってきた農家さんに、次の後継者がいること、農家さんの大切な存在に気付く者がいること、今まで守ってきたものに大きな意味があることを知ってほしいです。

そして、いつの日か「こいつが次の守り役かあ」と笑いながら背中を押していただくのが私の今の目標です。

V 令和元年度農業改良普及事業関係主要行事実施状況

- (1) 行事名 宮城県農業士退任者感謝状贈呈式及び認定証交付式
会 期 令和元年6月13日
場 所 宮城県庁講堂
主 催 宮城県
内 容 退任者への感謝状贈呈, 新規認定者への認定証交付
- (2) 行事名 令和元年度普及指導員調査研究検討会
会 期 令和元年7月17日
場 所 宮城県仙台合同庁舎 大会議室
内 容 調査研究の成果の発表, 協同農業普及事業について
- (3) 行事名 令和元年度宮城県農村青年のつどい
(第65回宮城県農村青少年技術交換大会)
会 期 令和元年7月6日・7日
場 所 登米市内
主 催 宮城県農村青少年クラブ連絡協議会, 宮城県, (公社)みやぎ農業振興公社
内 容 農業技術競技, レクリエーション, 現地研修
- (4) 行事名 宮城県農林産物品評会
会 期 令和元年10月10日～17日(水稲うるち玄米部門)
令和元年11月7日～8日(林産物部門)
※令和元年東日本台風の影響により, 野菜部門・果実部門は中止とし, 審査・表彰は部門毎
に実施
場 所 宮城県庁1階フロア
主 催 宮城県
内 容 県内優秀農林産物の展示及び表彰
- (5) 行事名 2020農山漁村パートナーシップ推進宮城県大会
(令和元年度農山漁村女性の日宮城県大会)
会 期 令和2年2月7日
場 所 東北大学百周年記念会館川内萩ホール
主 催 宮城県
共 催 宮城県生活研究グループ連絡協議会, JAみやぎ女性組織協議会, 宮城県漁協女性部連絡協議
会, みやぎアグリレディス21
内 容 講演, 農業・農村活性化女性グループ等表彰式, 農山漁村女性の活動発表
- (6) 行事名 令和元年度宮城県農村教育青年会議
会 期 令和2年2月1日
場 所 仙台市 エスポールみやぎ
主 催 宮城県農村青少年クラブ連絡協議会
共 催 宮城県, (公社)みやぎ農業振興公社
内 容 プロジェクト発表・農村青年の主張 他
- (7) 行事名 令和元年度農業普及・試験研究連携活動研究会
会 期 令和2年2月13日
場 所 宮城県自治会館
内 容 令和元年度普及活動実績, 国主催研修報告(伝達研修), 試験研究技術移転発表他

VI 令和元年度各農業改良普及センターのプロジェクト課題一覧

No.	普及センター	課題名	計画期間	対象名及び対象者数(波及対象・市町村等)	進行管理担当班	担当者
1	大河原 1	集落営農法人の連携による経営発展 <「中間管理事業」, 「中山間地域振興」関連課題>	H30 ~ R1	大内地区集落営農法人 3 法人 ・(農) 羽山の里 佐野 役員10人 ・(農) 伊手ファーム 役員11人 ・(農) 西向ファームさく里 役員6人 【丸森町】	地域農業第二班	◎大場, 薄木, 高田, 川勝
2	大河原 2	そば生産を核とした集落営農システムの構築 <「中間管理事業」, 「中山間地域振興」関連課題>	H30 ~ R2	古閑地区 33戸 【川崎町】	地域農業第一班	◎千田, 渋谷, 加藤, 丹野
3	大河原 3	集落営農法人における6次産業化 <「中間管理事業」関連課題>	H30 ~ R1	(農) 下名生ファーム 役員9人 【柴田町】	先進技術第二班	◎須藤, 渋谷, 千田, 佐藤(郁)
4	大河原 4	道の駅直売施設での販売を契機とした農産物の生産拡大	H30 ~ R1	道の駅直売施設農産物出荷者協議会 農産部会, 花き部会 95人 【角田市】	先進技術第二班	◎小室, 渡邊, 今野, 須藤
5	大河原 5	白石市ブランド農産物の生産技術の充実による品質向上	H30 ~ R1	宮城白石産ササニシキ復活プロジェクトの生産者 9人 白石市白石三白野菜等(とうもろこし, さといも, かぼちゃ, 菊芋) 生産者 30人 【白石市】	先進技術第一班	◎高橋(晋), 武田, 鈴木(秀), 加藤
6	大河原 6	集落ぐるみによる鳥獣被害軽減対策の実践	H30 ~ R1	向山上地区 34戸 【蔵王町】	地域農業第一班	◎高田, 鈴木(秀), 丹野
7	大河原 7	新しい生産技術の導入によるいちごの産出額向上	R1 ~ R3	JAみやぎ仙南蔵王地区いちご部会 13人 【蔵王町】	先進技術第二班	◎今野, 小島, 川勝
8	亘理 1	次代につなぐ大規模法人の生産体制整備による経営の安定化 <「中間管理事業」, 「スマート農業」関連課題>	R1 ~ R3	(農) 玉浦中部ファーム 【岩沼市】	地域農業班	◎片岡, 高橋(富), 山田, 横田, 高橋(亮)
9	亘理 2	大規模露地野菜経営の定着に向けた生産力の向上 <「中間管理事業」関連課題>	H30 ~ R1	(株) やまもとファームみらい野 (農) いそはま 【山元町】	先進技術班	◎横田, 齋藤, 小野寺, 西條, 浦郷, 山村
10	亘理 3	大規模水田営農に対応した水稲直播栽培技術の向上と実践 <「中間管理事業」関連課題>	R1 ~ R2	(株) 美田園ファーム 【名取市】 (管内水稲直播栽培志向生産者 5 経営体)	先進技術班	◎佐藤, 齋藤, 高橋(亮), 林
11	亘理 4	先進的技術の定着による園芸主力品目の収量向上 <「スマート農業」関連課題>	H30 ~ R1	環境制御あるいはIPM技術に取り組む亘理町, 山元町いちご生産者 29人, 名取市, 岩沼市きゅうり生産者 6人, 並びに山元いちご農園(株), (株) 一莓一笑, (株) やまもとファームみらい野 【全市町】	先進技術班	◎小野寺, 山田, 西條, 浦郷
12	亘理 5	次世代の担い手となる新規就農者の売上確保	H30 ~ R1	農業次世代人材投資事業(経営開始型) 対象者 12人 【名取市, 亘理町, 山元町】	地域農業班	◎安達, 高橋(富), 片岡, 高橋(亮)

No.	普及センター	課題名	計画期間	対象名及び対象者数(波及対象・市町村等)	進行管理担当班	担当者
13	仙台 1	省力化技術導入による大規模土地利用型経営体の生産性向上 <「中間管理事業」関連課題>	H30～R2	みどりあーと山崎(株) 5人 【大郷町】	先進技術第一班	◎早坂, 小田中, 長田, 佐藤(浩), 伊藤
14	仙台 2	中山間地域農業を支える地域営農体制の構築 <「中間管理事業」, 「中山間地域振興」関連課題>	R1～R3	倉内・大針農村地域活性化委員会地域営農部会 6人 【仙台市】	地域農業班	◎菊地, 鷲尾, 長田, 大河原, 丹野, 小林
15	仙台 3	GAPを活用した現場力の向上 <「GAP」関連課題>	R1～R2	(株) 未来彩園(取締役1人, 従業員4人) 【大衡村】	先進技術第二班	◎高橋, 佐藤(浩), 宇田川, 鈴木(康)
16	仙台 4	環境制御システムによる栽培管理技術の向上	R1～R3	(株) イグナルファーム大郷(代表取締役1人, 職員2人) 【大郷町】	先進技術第一班	◎漆山, 大河原, 宇田川, 服部
17	仙台 5	6次産業部門の改善による経営力の向上	R1～R2	(農) 仙台イーストントリー 理事3人 【仙台市】	先進技術第二班	◎柴田, 佐藤(浩), 鈴木(康), 櫻田
18	大崎 1	中山間集落の活性化を支える地域営農体制の構築 <「中間管理事業」, 「中山間地域振興」関連課題>	H30～R2	東鹿原集落営農組合 49人 【加美町】	地域農業班	◎小林, 吉村, 佐藤(敏), 高橋
19	大崎 2	地域資源を活用した中山間地域での園芸品目の生産拡大 <「中山間地域振興」関連課題>	H30～R1	あ・ら・伊達な道の駅花卉部会 25人 大崎市岩出山地域せり生産者 1人, 1法人 【大崎市】	先進技術班	◎村主, 宍戸, 若尾, 高橋, 猪苗代
20	大崎 3	地域の特産品への安定供給に向けた大豆の生産性向上 <「中山間地域振興」関連課題>	R1～R2	大崎市岩出山地域大豆生産者 3人 【大崎市】 (大崎市岩出山地域大豆生産者 11人)	先進技術班	◎阿部, 佐藤(一), 増田, 福士
21	大崎 4	新規就農した和牛繁殖農家の飼養管理技術向上及び経営安定化	R1～R2	和牛繁殖経営を開始した認定新規就農者 3人 (大崎市岩出山 1人, 大崎市鳴子温泉 1人, 色麻町 1人) 【大崎市, 色麻町】	先進技術班	◎千葉, 大友, 佐藤(敏), 若尾
22	大崎 5	そばの生産性向上による中山間地域を担う法人経営の安定化 <「スマート農業」, 「中山間地域振興」関連課題>	R1	(株) スマイルフィールド 【大崎市】	先進技術班	◎佐藤(浩), 曾根, 佐藤(一), 増田, 福士
23	美里 1	地域農業の維持・発展に向けて法人化した集落営農組織の経営安定化 <「中間管理事業」関連課題>	R1～R2	(農) タカギ農産 組合員11人 【美里町】	地域農業班	◎平, 鹿野, 伊藤(愛)
24	美里 2	法人経営体における第三者認証GAPの導入・定着 <「GAP」関連課題>	H30～R1	GAP導入支援 (株) こうだいらブランテ 【大崎市鹿島台】 GAP定着支援 (有) グリーンウェーブ南郷 【美里町】 (有) 氏家農場 【涌谷町】 (有) マルセンファーム 【大崎市鹿島台】	地域農業班	◎狐塚, 鹿野, 菅野
25	美里 3	「金のいぶき」の導入・定着化による地域ブランド米の確立	H30～R1	「金のいぶき」の栽培者 12人 【涌谷町】	先進技術班	◎西條, 飯沼, 高橋, 大友
26	美里 4	青ねぎの栽培技術定着による生産性の向上	H30～R1	(株) みどりのみらい 【美里町】 (農) 21世紀 【涌谷町】	先進技術班	◎飯沼, 伊藤(博), 西條, 菊地, 鈴木

No.	普及センター	課 題 名	計画期間	対象名及び対象者数(波及対象・市町村等)	進行管理担当班	担当者
27	栗原 1	農地整備を契機とした集落営農モデルの再構築 <「中間管理事業」関連課題>	H30～R1	八木営農組合 役員11人 【栗原市若柳地区】 (管内集落営農組合 36経営体)	地域農業班	◎三上, 鹿野, 早坂, 金野
28	栗原 2	中山間地域における小果樹類の生産性向上及び新商品開発 <「中山間地域振興」関連課題>	H30～R2	小果樹類生産者 6経営体 【栗原市花山地区】 ドリームファーム岩下 構成員6人 【栗原市一迫地区】	地域農業班	◎亀井, 内海, 佐々木, 小野寺, 内藤
29	栗原 3	きゅうり生産の見える化による栽培技術のレベルアップと産地生産力の強化	R1～R3	JA 栗っこきゅうり部会重点対象農家5人 【栗原市】 (JA 栗っこきゅうり部会 49人)	先進技術班	◎降幡, 小野寺, 佐々木
30	栗原 4	スマート農業技術の活用による土地利型作物の生産性向上 <「スマート農業」, 「GAP」関連課題>	R1～R3	(農) i ファーム 7名(役員5名, 社員2名) 【栗原市志波姫地区】	先進技術班	◎早坂, 佐藤(啓), 鈴木, 金野, 小野
31	栗原 5	新規就農者の基本技術習得と就農モデル経営体の確立	H30～R1	認定新規就農者(市認定) 4経営体(5人) 既営農開始者 3経営体(4人) 新規営農開始者 1経営体(1人) 【栗原市】	地域農業班	◎佐藤(秀), 鹿野, 植松, 降幡, 小野
32	登米 1	法人経営の円滑な次世代承継 <「中間管理事業」関連課題>	R1	(有) かわつらグリーンサービス 【登米市中田】	地域農業班	◎小山, 佐藤(泰), 鈴木, 今野
33	登米 2	きゅうり環境制御技術のスキルアップによる生産拡大 <「スマート農業」関連課題>	R1～R3	きゅうり環境測定機器導入生産者 5人 (見込み含む) 【登米市】 (環境制御技術基礎勉強会参加者等 20人)	先進技術班	◎小笠原, 伊藤, 八木, 本田, 今野
34	登米 3	スマート農業を活用した業務用多収米の安定生産 <「スマート農業」関連課題>	R1～R2	(有) おとちグリーンステーション, (農) ときなみファーム, 個別経営体 1戸 【登米市】	先進技術班	◎猪野, 狩野, 伊藤, 山家, 遠藤, 杉本
35	登米 4	技術・経営力の向上による青年等就農計画の目標達成	R1～R2	H30年度農業次世代人材投資事業経営開始型交付対象者 5経営体(認定新規就農者) (施設野菜2経営体, 露地野菜2経営体, 繁殖牛1経営体) 【登米市】	地域農業班	◎後藤, 佐藤(浩), 鈴木, 八木, 本田, 杉本
36	石巻 1	被災沿岸部の大規模経営体における経営の安定化 <「中間管理事業」関連課題>	H29～R1	(株) ばるファーム大曲 (株) めぐいと (株) サンエイト (農) 奥松島グリーンファーム 【東松島市】	地域農業班	◎増岡, 田中, 阿部, 小山, 工藤, 木村, 浅野
37	石巻 2	先進的園芸経営体の育成 <「GAP」, 「スマート農業」関連課題>	H28～R1	(株) イグナルファーム (株) アグリ・バレット (株) スマイルファーム石巻 (株) デ・リーフデ北上 【石巻市】	先進技術第二班	◎佐藤(篤), 宍戸, 鈴木(香), 鈴木(俊), 佐々木
38	石巻 3	先進技術を活用したいちご産地のステップアップ <「スマート農業」関連課題>	H29～R1	JA いしのまきいちご生産組合(3組合) 石巻苺生産組合, やもといちご生産組合, 河南いちご生産組合 いちご生産法人4社 【石巻市, 東松島市】	先進技術第二班	◎宍戸, 鈴木(俊), 鈴木(香), 關口
39	石巻 4	拡大する復旧農地を担う大規模農業法人の経営力強化	H30～R1	(株) 宮城リスタ大川 【石巻市】	先進技術第一班	◎阿部, 鶴飼, 佐藤(元), 木村, 児玉, 高橋

No.	普及センター	課 題 名	計画期間	対象名及び対象者数(波及対象・市町村等)	進行管理担当班	担当者
40	気仙沼 1	ねぎといちごの販売拡大による 経営の安定 <「中間管理事業」関連課題>	R1～R3	シーサイドファーム波路上(株) 【気仙沼市】	先進技術班	◎佐藤(直), 大村, 福原, 千葉
41	気仙沼 2	集落営農組織の地域営農体制構築による 経営体質強化 <「中間管理事業」関連課題>	R1～R2	廻館営農組合 14人 【南三陸町】 (西戸川地区営農組合11人, 在郷営農組合 11人)	地域農業班	◎佐藤(康), 都築, 佐藤(直)
42	気仙沼 3	環境モニタリングデータ活用及び IPM導入によるいちごの収量向上 <「スマート農業」関連課題>	H30～R1	階上いちご復興生産組合 3人 階上いちご第2復興生産組合 3人 【気仙沼市】	先進技術班	◎福原, 水戸, 齋藤
43	気仙沼 4	中山間地における農地の 維持管理労力の軽減 <「中山間地域振興」関連課題>	R1～R2	新童子下集落協定参加者 34人 【南三陸町】	地域農業班	◎千葉, 佐藤(康), 水戸, 佐藤(郁)
44	気仙沼 5	南三陸ねぎの経営安定に向けた 作期の拡大	R1～R2	在郷営農組合 3人 (株)グリーンファーマーズ・宮城 【南三陸町】 (シーサイドファーム波路上(株)【気仙沼 市】)	先進技術班	◎大村, 福原, 都築, 佐藤(正)

Ⅶ 令和元年度普及指導課題対象農業者満足度調査結果の概要

<調査方法>

1 目的

県内の9つの普及センターごとに地域や農業者の方々を対象として支援ニーズを調査し、今後の農業改良普及事業に反映させるために実施。

2 調査時期と方法

○調査時期：令和元年11月～12月

○調査方法：アンケート形式で普及指導員が直接調査票を配布・回収(一部郵送による)。なお、回収に際しては個人情報に配慮し、厳封の上回収した。

調査は包括的な結果の把握を目的とし、個人を特定しない方法で実施。

3 調査の対象者

○普及指導計画のプロジェクト課題対象農業者とし、今回の調査では150人に対し実施。

○普及センター別は、大河原17人、亘理16人、仙台17人、大崎17人、美里19人、栗原22人、登米13人、石巻13人、気仙沼16人。

4 対象者の属性

○全調査対象者数150人中、認定農業者は95人。

○所得第1位の部門

稲作59人、麦・大豆7人、野菜61人、畜産11人、花き3人、果樹2人、直売・加工4人、その他3人。

○年齢構成

30才以下6人、31～40才20人、41～50才19人、51～60才28人、61才～70才57人、71才以上19人、無回答1人。

○経営の形態

法人58人、集落営農組織11人、任意組織4人、個別74人、その他3人。

<調査結果>

1 普及指導員の活動に対する期待度

○普及指導員の活動に対する期待度合いについて5段階評価で記入いただいた結果、「普及指導員の態度・熱意」の期待度が平均で4.47と最も高い結果となりました。

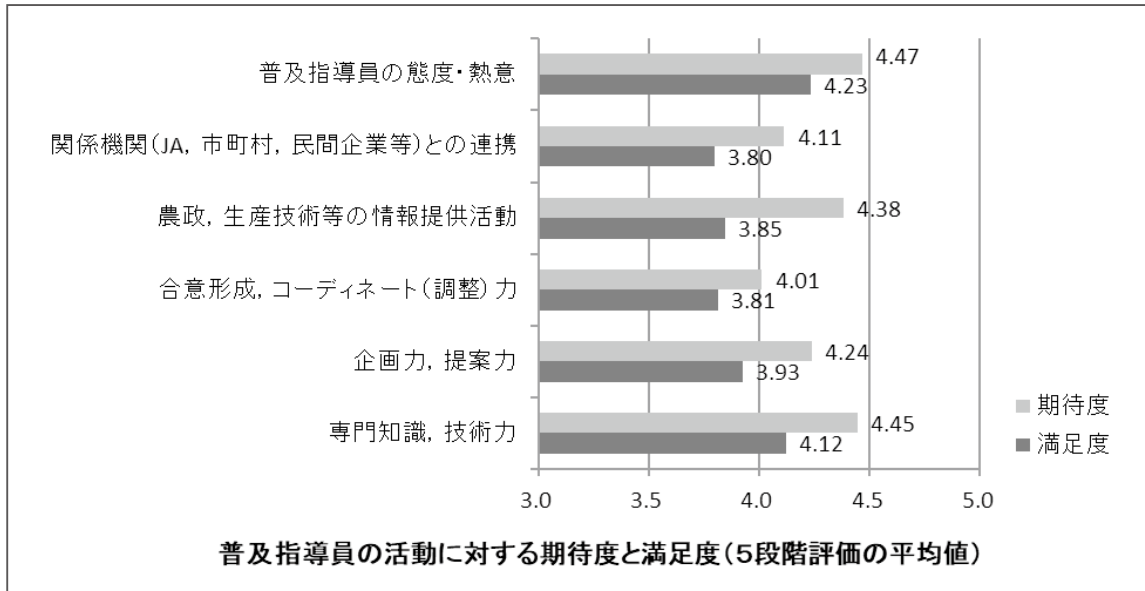
○次いで「専門知識・技術力」、「農政、生産技術等の情報提供活動」が上位となり、昨年と同様の傾向でした。

2 普及指導員の活動に対する満足度

○期待度に対して、実際に受けている普及活動の満足度合いについて5段階評価で記入いただいた結果、期待度の最も高かった「普及指導員の態度・熱意」の満足度が平均で4.32と最も高い結果となりました。次いで「専門知識・技術力」、「企画力、提案力」の順に高い結果となりました。

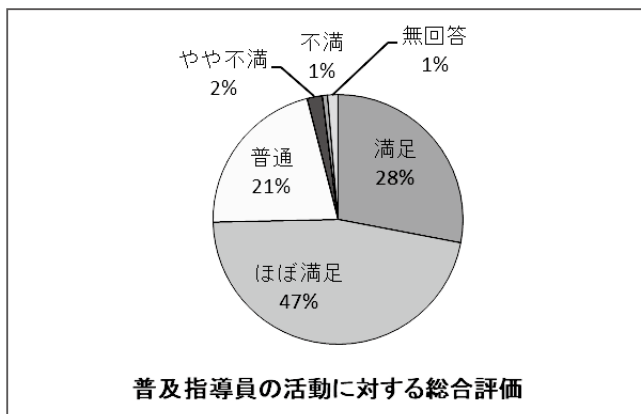
○また、期待度に対して満足度が低い値となったのは、昨年と同様に「農政、生産技術等の情報提供活動」、「専門知識、技術力」の項目で、今後も改善が必要であることが分かりました。

○属性別に集計した結果、「情報提供活動」については年代別では「60才以下」全般で、部門別では「畜産」、「果樹」・「花き」・「直売・加工」で期待度に対して満足度がやや不足している傾向となりました。



3 総合評価

○全体の28%が「満足」と回答し、「ほぼ満足」と合わせると約4分の3の回答者が満足している結果となりました。



<今後の取組>

普及指導員の活動についての総合的な評価はおおむね高く、特に期待度が最も高かった「普及指導員の態度・熱意」については、農業者の方々の満足が得られているものと判断されました。一方で、「農政、生産技術等の情報提供活動」や「専門知識・技術力」は期待度に対して満足度がやや不足しており、まだまだ改善が必要であると思われました。今後もOJTをはじめ、専門分野別及び職位段階別の研修等の実施により、普及指導員のスキル向上に向けた取組を強化していきます。

また、自由意見では74人の方々から励ましのお言葉や「巡回指導の頻度を増やしてほしい」、「新技術や他地域の先進事例等をもっと情報提供してほしい」等の貴重なご提案をいただきました。今後さらに普及指導活動に対する満足度を高めるため、いただいたご意見等を真摯に受け止め、地域における関係機関との連携・調整を図りながら、一層の改善に努めていきます。

ご協力ありがとうございました。



普及活動標語

思いを形に、あなたのチャレンジ支えます。応援します。農業普及

ロゴマーク説明

宮城県の農業改良普及事業が農業発展の架け橋となることを願うとともに、
アグリカルチャーの頭文字『A』をイメージしています。

明日へのアグリロード 2019

令和2年5月発行

編集発行

宮城県農政部農業振興課

電話 022(211)2837

E-mail nosin@pref.miyagi.lg.jp
